

測定・成分分析で新サービス

部品の品質確保を支援

プレス部品の ツルタ製作所

自動車プレス部品メーカーのツルタ製作所（本社刈谷市一里山町南大根12の1、鶴田昌宏会長、電話0566・36・0357）は、部品の形状の測定や成分分析を行うサービスを開始した。部品メーカーの品質確保などを支援する。地域全体で形状測定などの技術者不足が課題になる中、需要を掘り起こす。（勝又佑記）



部品の形状を測定するサービスなどを開始した

部品の測定では、生産の立ち上げ前に形状の精度保証をサポートする。3次元測定機「ATOSQ」を利

用して、試作中の部品を測定。CADデータと照らし合わせることで形状の誤差

を調整後や、廃棄する前のデータを記録するニーズなどを見込む。料金は1円程度の部品で、15力所を測定する場合に2万円程度。また、成分分析は光学顕微鏡で実施する。仮に製品に異物が付着している場

を確認する。その後の溶接のひずみや治具の改善、金型調整などに役立つ。

測定の対象は、プレスや樹脂部品などに加えて金型を想定している。金型の微調整後や、廃棄する前のデータ

合、拡大したりレーザーを照射して成分を確認。その結果をもとにどの生産工程で異物が付着したか調べられる。料金は部品の10力以内を分析する場合で8千円程度。ツルタ製作所は約10年前に自社の部品に対する測定を始めた。2023年半ばに現在のATOSQと光学顕微鏡を本社に導入した。これまで培ってきたノウハウを生かし、部品業界の慣習を踏まえ顧客に寄り添ったサービスを展開したいと考えた。

中部経済新聞
2025.2.12